



～礼儀と節度を考える～

# 平成武師道

## 〈人間活動学〉

先日、野田総理に出会った。

たまたま友人の鰻屋さんでばったりと出会っただけだったが、

私が「野田総理！空手家の佐竹です！」と声を掛けた。

すると野田総理は私の顔を見て、「おぉー！」と喜んだ顔をして握手をしてきた。

そして、「あなたのグローブをはずして素手で叩く鎖骨パンチは日本一でしたね。」と言った。

はっきり言って、私はその言葉に驚いた。

普通は「良いパンチをしてたね。」とか「試合観てました。」ぐらいの事は他の人達からも言われるのだが、いきなり「鎖骨パンチ」と言う言葉を耳にするととは思わなかった。

それぐらい、野田総理は空手時代からの私を知っていたのだ。

私はとっさに言った。

「総理、渡したいものがあるので、少し待って下さい！」

そして私は多くのSPが戸惑っているなか、自分のカバンの中から1冊の本を取り出した。

そう、「武師道」の本である。

私は武師道の考えを日本の代表にわかってもらいたい一心で、本を総理に手渡した。

「総理、現在私はこのような活動をしています。是非読んで下さい！」

すると総理はニッコリ笑って、「ありがとう。」と言ってくれた。

ほんの数分の出来事が私にとっては、ひとつ大きな仕事をしたように思えた。

普通ならSPに追い返されるのだろうが、快く武師道の本を受け取ってくれた。

今まで同志達で作上げた考えが少しでも伝われば何よりだ。

とにかくこれも運動。

動かないと運は動かない。

少しのチャンスも逃さず実行に移したから、平成武師道の存在が総理大臣にも伝わったのだ。

我々が今まで行ってきた勉強会は決して無意味ではなかった。

私は家に帰り、本と言うよりは言葉や文字の大切さを感じた。

毎回テーマにしている義や仁などの様々な言葉は、知らなければそれまでだ。

知らないとは何も心には浮かばない。

と言う事は、何の行動にも採れないのだ。

逆に人としての基本的な生き方や生き様を知る事が、心に入り、それを想像するから行動に採れる。

良い言葉や良い事を知る事が、良い行いをする事に繋がっていくのだ。

だからこそ、これからも勉強をしていかなければならないのだ。

人生、生きている限り勉強。

まだまだ学ぶ事が、そこら中に転がっている。

いろいろな事を知る事が宝探しなのだ。

平成武師道の同志の皆さん、そんな気構えで生きていこうではないか。

とにかく学び、行動に採っていく。

いつかは日本を代表する文化になり、世界にも伝わる日が来る事を夢見て。



佐竹 隆